



# 平和首長会議ニュース

2023年1月 / 第157号

平和首長会議加盟都市数

166 か国・地域 **8,234** 自治体

**加盟都市数 10,000 都市を目指しています!**

日本国内加盟自治体数 : 1,737

(2023年1月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック!

🌐 ウェブサイト:

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/>

📘 フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

🐦 ツイッター:

<https://twitter.com/Mayors4Peace>

「いいね!」をお待ちしています。

## <<今号の内容>>

- ◆ 子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2022の入賞作品が決まりました!
- ◆ 視聴者募集中! 平和教育ウェビナー「青少年による平和活動報告会」
- ◆ 未加盟都市への呼び掛けに関する好事例を紹介します!
- ◆ 加盟都市の活動紹介
- ◆ SNSで平和首長会議役員都市を紹介しています!
- ◆ 平和首長会議加盟自治体数: 166か国・地域 8,234自治体
- ◆ 平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆ 被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆ 平和教育の取組事例を募集しています
- ◆ ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆ 長崎大学核兵器廃絶研究センターから:2022年版「世界の核物質データ」解説②
- ◆ 広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」について

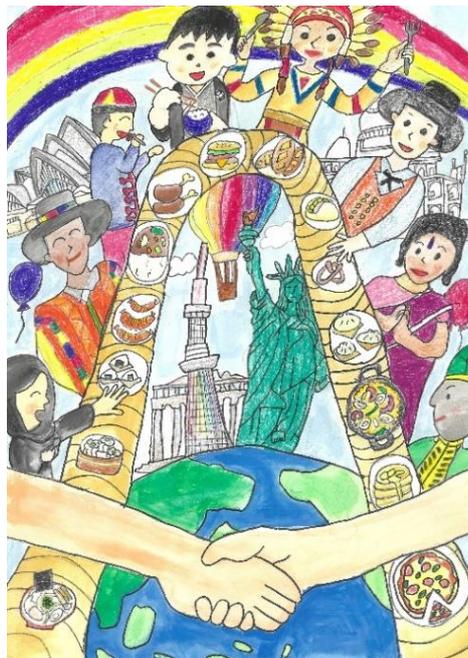
=====  
**■子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2022の入賞作品が決まりました！**  
=====



平和首長会議では、加盟都市における平和教育の更なる充実を図るため、全加盟都市の6歳以上15歳以下の子どもたちを対象に“平和なまち”をテーマにした絵画コンテストを実施しています。

5回目となる2022年度は、世界15か国86都市の子どもたちから8,644作品の応募があり、各加盟都市での審査を経て、489作品が平和首長会議事務局に送付されました。事務局で選定した結果、15作品を入賞作品として決定しました。入賞された皆様、おめでとうございます。

入賞作品は、作者のメッセージとともに、平和首長会議のウェブサイトで紹介しています。いずれも素晴らしい作品ですので、ぜひご覧ください。また、平和首長会議会長賞を受賞した作品は、平和首長会議のクリアファイルのデザインとして採用し、国連の会議など様々な場面で活用します。



平和首長会議会長賞を受賞した愛知県大府市の  
兼松玖河さん(10歳)の作品

 子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト2022の入賞作品が決まりました。(平和首長会議ウェブサイト) :

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/2022/post-221227/>



=====  
**■未加盟都市への呼び掛けに関する好事例を紹介します！**  
=====

平和首長会議では、核兵器のない平和な世界の実現に向けた大きな潮流をつくるため、加盟都市の拡大に取り組んでいます。

加盟都市の拡大の取組をより一層推進するため、未加盟都市への呼び掛けにより加盟につながった好事例を紹介します。

◆ドイツ・プッフハイム市の活動紹介：市長が友好都市に加盟を呼び掛け  
(報告者：プッフハイム市職員 Sonja Weinbuch氏)

プッフハイム市は2022年4月に平和首長会議に加盟しました。友好都市4都市に平和首長会議を紹介したところ、うち3都市(オーストリア・アットナング＝プッフハイム市、ハンガリー・ナジカニジャ市、同・ザラカロシュ市)の加盟に結びつきました。

呼び掛けに当たっては、プッフハイム市長が友好都市に宛てて親書を送り、平和首長会議の取組を簡潔に紹介した上で、共に加盟都市になることで強い連帯の意志を示そうと呼び掛けました。また、2022年夏に上記3都市の市長と面会した際には、加盟要請資料を直接手渡し、平和に対する国際社会の理解や取組を推進していくという決意を再確認しました。平和首長会議について、市長は、特にウクライナが戦禍にある現下の状況において、諸都市がヨーロッパにおける平和と友好への意志を示す機会を提供してくれると考えています。

プッフハイム市長は、「オーストリアとハンガリーの友好都市が平和首長会議に加盟して、大変嬉しく思っています」と述べ、次に各市長に面会する際には、平和首長会議の旗を贈呈することを予定しています。



(左から)：ナジカニジャ市長、プッフハイム市長、アットナング＝プッフハイム市長。2022年6月のプッフハイム・フォーク・フェスティバルの際に行われた、プッフハイム市とアットナング＝プッフハイム市との友好都市提携30周年祝賀行事にて。

写真提供：プッフハイム市



2022年10月にザラカロシュ市で行われたハンガリー最大の自転車競技会にて、ザラカロシュ市長(左)がプッフハイム市長に参加の記念メダルを贈呈。

本コーナーで紹介する事例を参考に、姉妹・友好都市等交流関係のある未加盟都市に是非加盟の働き掛けをお願いします。呼び掛けの際にご活用いただける加盟要請資料(10か国語)は、平和首長会議ウェブサイトからダウンロードできます。

🔗 加盟要請書類一式(平和首長会議ウェブサイト)：

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/about/resource/>

事務局では、未加盟都市への呼び掛けに関する好事例を随時募集します。他都市の参考になるよう、メールマガジンでご紹介しますので、皆さまからの情報提供をお待ちしております。

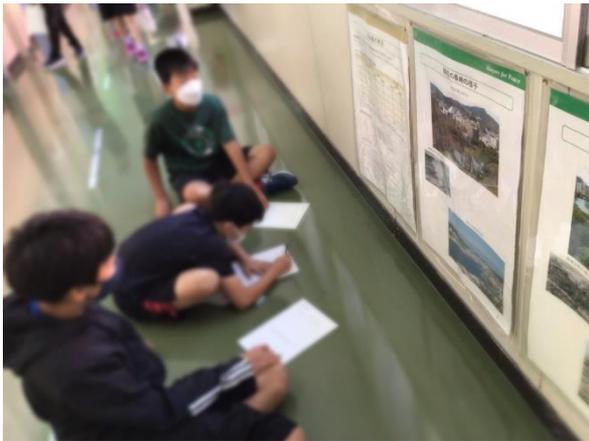
=====  
■加盟都市の活動紹介  
=====

●北海道旭川市 旭川市内の小中学校で移動原爆展を開催

旭川市では、未来を担う子どもたちに平和について考えてもらうため、毎年9月から12月にかけて、希望する小中学校に平和学習に関するポスターの貸出を行っています。

2022年は、市内9校の小学校にご協力いただき、そのうち4校で平和首長会議原爆ポスターの展示を行いました。約630人の子どもたちが熱心に見入っていました。

学校で戦争について学習する時期に、より深く学び、平和の尊さを理解していただけたことと思います。



写真提供：旭川市

<<貴自治体の平和活動の情報をお知らせください>>

平和首長会議事務局では、[行動計画](#)に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事等の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの「[加盟都市の活動](#)」コーナーでご紹介します。特に、次代の平和活動を担う青少年の育成に関する事業や、「平和文化の振興」に寄与する活動について、ご報告いただけますと幸いです。

是非、短文のご報告(最大400字程度)を写真とともに、平和首長会議事務局までお寄せください。

Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

## ■ SNSで平和首長会議役員都市を紹介しています！

世界166か国・地域の8,234自治体(2023年1月1日現在)が加盟する平和首長会議では、[世界各地の21都市](#)が役員都市を務めています。

この度、各役員都市についてより多くの方々に知っていただくため、[平和首長会議公式ツイッターアカウント\(@Mayors4Peace\)](#)及び[フェイスブックアカウント\(@mayorsforpeace\)](#)にて、8つの役員都市から寄せられた ①市長メッセージ ②見どころ・名物 ③平和イベント・取組 を、日本語と英語で紹介しています。

先月号に引き続き、この「平和首長会議ニュース」においても各役員都市について順次紹介します。

今月号では、ハノーバー市(ドイツ)及びマラコフ市(フランス)について紹介します。

### ● ハノーバー市(ドイツ)



#### ① ベリット・オーナイ市長メッセージ

「私たちの未来は今なお、1万3千発の核弾頭により脅かされています。私たちハノーバー市は、核兵器廃絶とドイツの核兵器禁止条約批准を求めています。」



#### ② 見どころ・名物

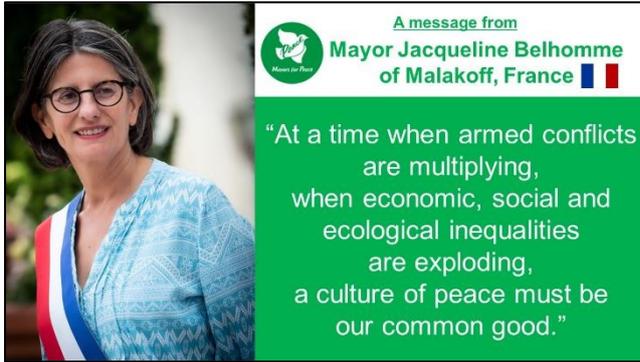
- ・ 新市庁舎(お城のような外観で、荘厳な入口のホールや展望台が有名)
- ・ ヘレンハウゼン王宮庭園(欧州でも指折りの歴史ある庭園)
- ・ リュッチェ・ラーゲ(地元の黒ビールと蒸留酒コルン(穀物のブランデー)を混ぜた伝統的な飲み物)



#### ③ 平和のイベント・取組

- ・ 8月6日に広島の前爆の日の追悼行事を開催します。
- ・ 7月8日には、核兵器の威嚇または使用に関する96年の国際司法裁判所の勧告的意見を記念して、ドイツの他の加盟都市とともに、平和首長会議の旗の一斉掲揚を行います。

● マラクOFF市(フランス)



① ジャクリーン・ベロム市長メッセージ

「武力紛争が増加し、経済的・社会的・環境的不平等が拡大する今日、平和文化は私たちにとって共通の利益です。」



② 見どころ・名物

- ・ マラクOFF・タワー(19世紀半ばに建設された塔で、崩壊後も町のシンボルとして記憶されている)
- ・ テアトル71(市を代表する劇場)
- ・ クラクザン蒸留所(歴史的建造物)



③ 平和のイベント・取組

毎年、国際平和デー(9月21日)の時期に、地域の平和団体と協力して記念イベントを開催します。

平和首長会議公式SNSアカウントでは、役員都市の紹介のほかにも、様々なニュースを写真と共にご紹介しています。是非フォローをお願いいたします！

🐦 平和首長会議公式ツイッターアカウント(@Mayors4Peace)  
<https://twitter.com/Mayors4Peace>

📘 平和首長会議公式フェイスブックアカウント(@mayorsforpeace)  
<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

=====  
**■平和首長会議加盟自治体数: 166か国・地域 8,234自治体**  
 =====

2023年1月1日付で、6自治体が加盟し、加盟自治体数は8,234都市となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。新たに加盟した国・地域と内訳は以下のとおりです。

新たに加盟した国・地域と内訳は以下のとおりです。

国名	新規加盟都市名	加盟都市数	備考
オーストリア	アットナング＝プッフハイム	121	ドイツの加盟都市であり、姉妹都市であるプッフハイム市の呼び掛けにより加盟(p.4参照)。
カナダ	テルボンヌ	112	
ドイツ	グリーニッケ/ノルトバーン等2都市	845	副会長都市及びリーダー都市であるハノーバー市の呼び掛けにより加盟。
ハンガリー	ザラカロシュ	7	ドイツの加盟都市であり、姉妹都市であるプッフハイム市の呼び掛けにより加盟(p.4参照)。
英国	スキプトン	87	ノルウェーの平和団体であるバイク・フォー・ピースの呼び掛けにより加盟。

平和首長会議では、核兵器のない平和な世界の実現に向けた大きな潮流をつくるため、**10,000都市加盟**を目指し、加盟拡大に取り組んでいます。海外の姉妹・友好自治体で、平和首長会議に未加盟の自治体がある場合は、是非加盟の呼び掛けにご協力をお願いします！



🔗 1月1日付新規加盟自治体一覧(PDF):  
[https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2022/file-2212-newmembers2301\\_jp.pdf](https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2022/file-2212-newmembers2301_jp.pdf)

🔗 加盟都市数一覧(国・地域別) (PDF):  
[https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/monthly/file-07\\_membership\\_by\\_country\\_jp.pdf](https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/monthly/file-07_membership_by_country_jp.pdf)

=====  
**■平和首長会議行動計画に掲げる取組の実施にご協力ください**  
=====

2021年7月にオンラインで開催した第12回平和首長会議理事会において、「[平和首長会議行動計画\(2021年－2025年\)](#)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた取組の推進にご協力ください。

🔗 「平和首長会議行動計画(2021年－2025年)」(PDF):  
[https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-PX\\_Vision\\_Action\\_Plan.jp.pdf](https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-PX_Vision_Action_Plan.jp.pdf)

🔗 行動計画に基づく取組(平和首長会議ウェブサイト):  
<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/>



=====  
**■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内**  
=====

平和首長会議では、行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の苗木の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

今年度においても、すでに多くの加盟都市から配付の申請をいただいております。ありがとうございます。引き続き申請を受け付けておりますので、是非ご検討いただければ幸いです。なお、この事業は、通年で行っているため特に申請期限はありません。



また、被爆樹木二世の苗木を活用した取組(植樹式や啓発活動を行ったり、平和教育の教材として活用した例など)がありましたら、是非事務局にご報告ください。このメールマガジンや、平和首長会議ウェブサイトの「[加盟都市の活動](#)」コーナーでご紹介します。

▼Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)  
▼TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

=====

## ■平和教育の取組事例を募集しています

=====

平和首長会議事務局では、加盟都市での取組の活性化につなげていくために、各加盟都市において実施されている平和教育の取組事例を収集し、「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介しています。

これまでに寄せいただいた取組事例をウェブサイトに掲載しています。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

 平和教育の好事例の紹介コーナー(平和首長会議ウェブサイト):

<https://www.mayorsforpeace.org/ja/vision/initiative/edu-example/>

また、事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。頂いた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp) TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

=====

## ■ヒロシマ発平和関連ニュース(連載第99回)

[中国新聞ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====

ウクライナ危機が越年し、引き続き世界のどこかで核兵器が使用される危機が高まっていると言われる中、私たちは2023年を迎えました。今年は被爆78年を数えます。新型コロナウイルス禍の完全な収束は見えてこないままです。

5月には先進7カ国首脳会議(G7サミット)が広島で開かれます。被爆地に集う7カ国は、核兵器を保有する国や、同盟国の核抑止力への依存を打ち出している国です。核兵器禁止条約に後ろ向きの姿勢を堅持する国ばかり。いかなる国の核兵器も許されない、というヒロシマ、ナガサキの訴えを首脳たちに向けて発信することが求められます。一方、ニューヨークでは、核兵器禁止条約の第2回締約国会議が予定されています。「核兵器禁止」をさらに強固なものに育てていくための、次なるステップです。

核兵器が使われたら、これだけ悲惨で壊滅的な事態となる。しかも、1発でも存在する限り、使われかねない。その現実こそを直視せよ——。被爆地広島からの言葉と行動が問われる一年となります。中国新聞ヒロシマ平和メディアセンターは、1月1日で開設から15年を迎えました。広島県内と周辺地域に限定されることなく、インターネットで私たちの原爆・平和報道を日本と世界に広めることが主な目的でした。広島からの市民の平和発信を支える情報源として、取り組みをさらに強化していきます。

関連記事は次のアドレスで読むことができます。

原爆孤児 祖母の墓どこに 9歳で被爆 大阪の友田さん 体験語り 感謝再び

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=126054>

核廃絶 NZで誓った千羽鶴 国際会議の参加者 被爆者の田中さんに託す

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=126541>

中国人被爆者らの存在に光を 慰霊碑設立へ「考える会」結成 ボランティアガイドら

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=126081>

[ジュニアライターがゆく] 広島サミットまで5ヵ月 外国語でヒロシマ伝えたい

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?junior=2022-19>

[ヒロシマの空白] 平和祈念館 中国の留学生 遺影を初登録 広島的女子寮で被爆

<https://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=127004>

## ■長崎大学核兵器廃絶研究センターから:2022年版「世界の核物質データ」解説②

核兵器の製造には、高濃縮ウランまたはプルトニウムという特殊な物質が使われます。下図にあるように、2020年末現在のデータによれば、世界には、1,254トンの高濃縮ウランと544トンの分離プルトニウムが存在します。これは、広島・長崎原爆に換算して優に11万発分以上にも相当する、とてつもない量になります。今回は、この濃縮ウランとプルトニウムについて詳しく説明します。

ウランは自然界に存在する物質で、いくつかの種類があります。天然のウランは、核分裂が起きにくいウラン238が99.3%を占め、核分裂が起きやすいウラン235はわずかに0.7%です。そのままでは核分裂が起きにくいので、ウラン235の濃度を高める必要があります。この作業を「ウラン濃縮」と言います。通常の核兵器で使われているのは90%以上に濃縮されたものですが、20%以上であれば核兵器に利用できると考えられています。これを「高濃縮ウラン」と呼びます。一方、普通の原子力発電所で用いられている核燃料は、3～5%程度に濃縮したもので、「低濃縮ウラン」と呼ばれます。

他方、プルトニウムは天然には存在しない物質であり、原子炉を運転すると自動的に生成されます。この使用済み核燃料からプルトニウムを回収する方法を「再処理」と言います。通常の前処理から回収されるプルトニウムは「原子炉級プルトニウム」と呼ばれ、純度の高い「兵器級プルトニウム」に比べ、核兵器製造には適さないという意見がありますが、これは正確ではありません。原子炉級プルトニウムでも核兵器を製造することは十分に可能なのです。

詳細なデータは、<https://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/topics/40809>で公開しています。さらに詳しい内容を知りたい方はそちらをご覧ください。

<図> 分離プルトニウム・高濃縮ウラン保有総量

### 分離プルトニウム・高濃縮ウラン保有総量



画像提供:長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)

=====  
**■広島被爆者7団体が実施する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」  
について**  
=====

核兵器禁止条約は2021年1月22日に発効し、現在68か国が批准しています。日本政府の署名・批准は、平和首長会議が目指す「核保有国を始め全ての国がこの条約に参加」するための道づくりとなるものです。

広島被爆者7団体が推進する「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にご協力ください。

 「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」署名用紙  
<https://www.mayorsforpeace.org/wp-content/uploads/2021/file-syomei.pdf>

\*\*\*このメールマガジンに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください\*\*\*

### 平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5  
(公財)広島平和文化センター 平和首長会議運営課  
TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452  
Email: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

平和首長会議メールマガジンの最新号やバックナンバーは、次のアドレスからご覧いただけます。  
<https://www.mayorsforpeace.org/ja/new/newsflash>

### 【平和首長会議公式SNSアカウント】

〈ツイッター〉  @Mayors4Peace  
<https://twitter.com/Mayors4Peace>



〈フェイスブック〉  @mayorsforpeace  
<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>



フォロー、拡散、「いいね」、コメントをお願いします！